

定期検査中の 6 号機高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の不具合について

<概要>

(事象の発生状況)

- ・平成 22 年 12 月 16 日、定期検査中の 6 号機において、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の検査時、発電機を自動起動させた後、発電機を手動で停止する際、所定の周波数に設定を行う必要があるため、中央制御室から周波数を調整する遠隔操作をしたところ、周波数の調整ができないことを確認しました。

(今後の対応)

- ・今後、原因について調査いたします。

(安全性、外部への影響)

- ・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の機能上の問題はありません。
- ・本事象による外部への放射能の影響はありません。

(公表区分)

- ・本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成 22 年 12 月 16 日、定期検査で停止中の 6 号機において、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機^{*1}の検査を行うために、当該発電機を自動起動させ、正常に機能することを確認しました。

機能の確認後、ディーゼル発電機を手動で停止する際、その後の自動起動に備えて所定の周波数に設定^{*2}を行う必要があることから、午前 10 時 33 分頃、中央制御室から調速装置^{*3}を遠隔操作したところ、周波数の調整ができないことを確認しました。

なお、周波数の調整は、現場にある当該調速装置で直接調整が可能であることから、機能上の問題はありません。

2. 今後の対応

今後、当該調速装置を点検し、中央制御室からの遠隔操作により周波数の調整ができなかった原因について調査いたします。

3. 安全性、外部への影響

高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の機能上の問題はありません。
本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

*** 1 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機**

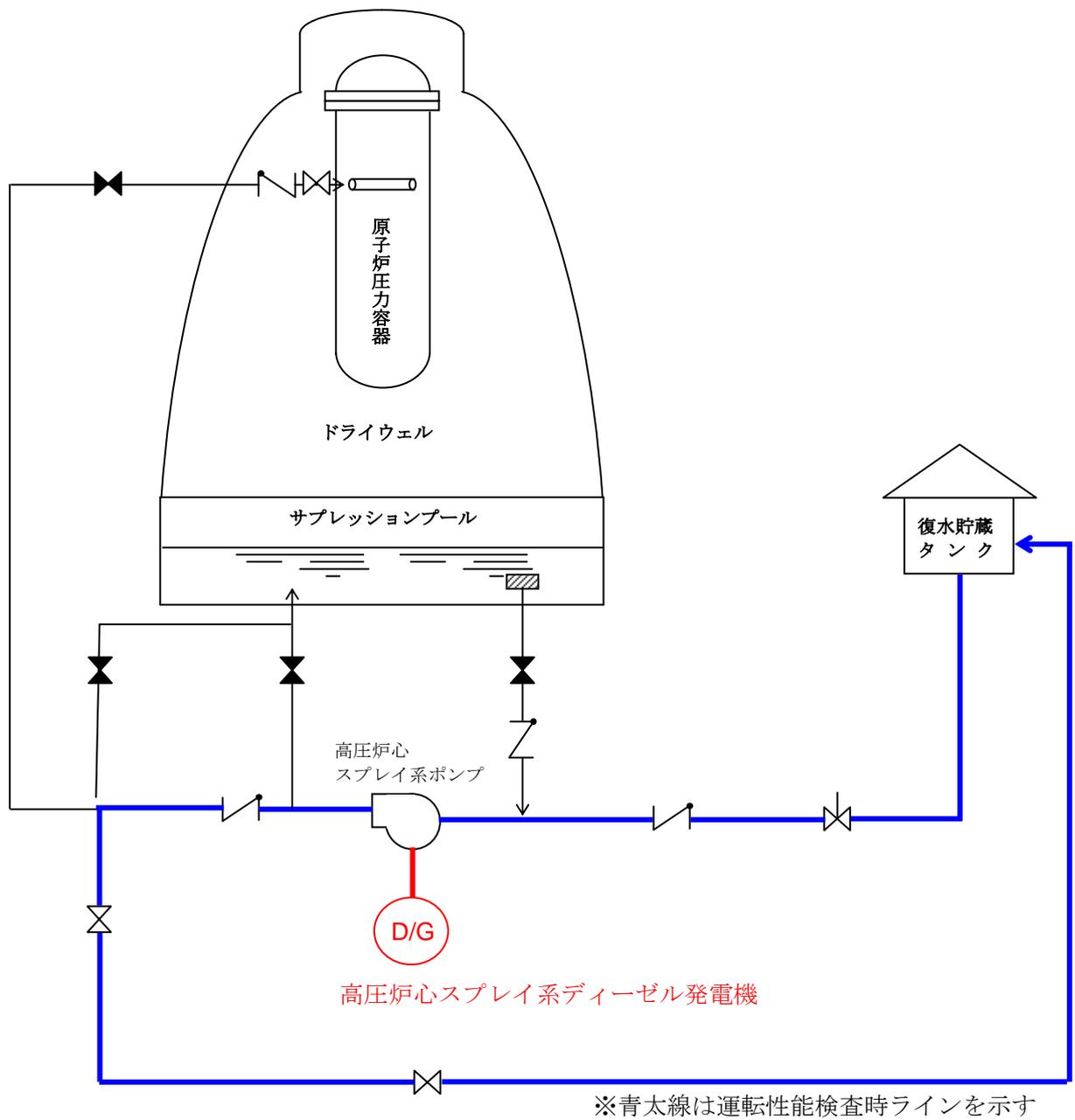
高圧炉心スプレイ系は非常用炉心冷却系の1つで、原子炉水位が異常に低下した場合に、原子炉内に水を補給するための設備であり、電源喪失時にその系統のポンプ等に電源を供給するディーゼル発電機。

*** 2 所定の周波数に設定**

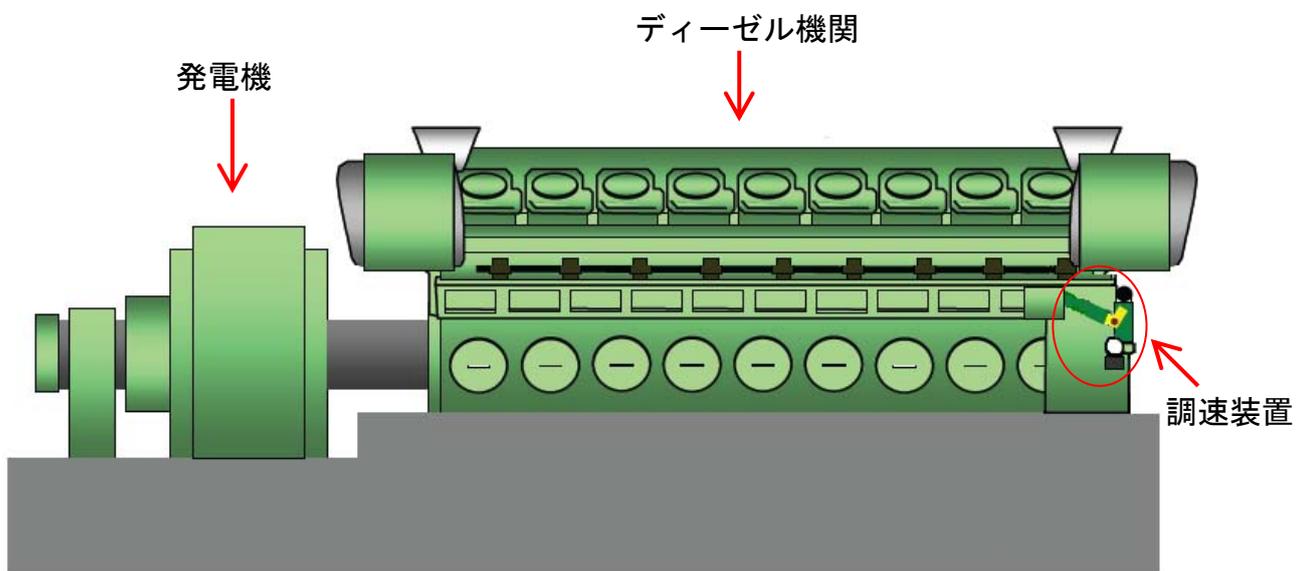
自動起動後の負荷接続による周波数の低下を考慮し、予め周波数を 50.8Hz に調整を行うもの。

*** 3 調速装置**

負荷の大小に応じて、ディーゼル機関の回転速度を調整することにより周波数を一定（約 50 ヘルツ）に保つ機器。



高圧炉心スプレイ系統概略図



高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 構造図



調速装置 外形写真